

介護職員初任者研修講座（通信）募集要項

1：受講対象者

大智学園在校生で受講を希望する者（第1回）

聖進学院在校生で受講を希望する者（第2回）

2：研修スケジュール

研修期間：令和2年10月16日～令和2年11月24日					第1回					研修期間：令和2年12月3日～令和3年2月19日					第2回				
区分	研修日	研修時間	時間数	科目 (項目・科目番号、科目名)	講師名	会場	区分	研修日	研修時間	時間数	科目 (項目・科目番号、科目名)	講師名	会場						
講義・演習 (実習)	10/16(金)	11:00～15:00	3	1(1)多様なサービスの理解 1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解①	斉藤 有俊 斉藤 有俊	大智学園 東京校舎2階	12/3(木)	13:00～16:00	3	1(1)多様なサービスの理解 1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	斉藤 有俊 斉藤 有俊	聖進学院 東京校舎3階	12/3(木)	13:00～16:00	3	1(1)多様なサービスの理解 1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	斉藤 有俊 斉藤 有俊		
	10/19(月)	11:00～14:00	2	2(2)自立に向けた介護	斉藤 有俊		12/4(金)	13:00～16:00	3	1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解② 2(2)自立に向けた介護	斉藤 有俊 小曾 将太		12/4(金)	13:00～16:00	3	1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解② 2(2)自立に向けた介護	斉藤 有俊 小曾 将太		
	10/20(火)	11:00～15:00	3	3(2)介護職の職業倫理	小曾 将太		12/8(火)	13:00～16:00	3	3(2)介護職の職業倫理	小曾 将太		12/8(火)	13:00～16:00	3	3(2)介護職の職業倫理	小曾 将太		
	10/21(水)	11:00～12:00	1	4(3)医療との連携とリハビリテーション①	伊達 哲也		12/10(木)	13:00～15:00	2	4(3)医療との連携とリハビリテーション	伊達 哲也		12/11(金)	13:00～16:00	3	5(2)介護におけるチームのコミュニケーション	小曾 将太		
	10/22(木)	11:00～15:00	3	6(1)変化に伴うチームのコミュニケーション①	小曾 将太		12/11(金)	13:00～16:00	3	5(2)介護におけるチームのコミュニケーション	小曾 将太		12/14(月)	13:00～16:00	3	6(1)変化に伴うチームのコミュニケーション②	小曾 将太		
	10/23(金)	11:00～16:10	4	7(3)認知症に伴うことからの変化と日常生活①	橋本 さやか		12/15(火)	13:00～15:00	2	7(3)認知症に伴うことからの変化と日常生活	橋本 さやか		12/17(木)	13:00～15:00	2	7(4)家族への支援	橋本 さやか		
	10/26(月)	13:00～16:00	3	7(4)家族への支援	橋本 さやか		12/17(木)	13:00～15:00	2	8(3)家族の心理、かかわり支援の理解	萩原 健市		12/18(金)	13:00～16:00	3	8(1)介護の基本的な考え方	萩原 健市		
	10/27(火)	11:00～14:00	2	8(3)家族の心理、かかわり支援の理解	萩原 健市		12/21(月)	13:00～16:00	3	9(2)介護に関することからのしみの基礎的理解①	山本 和裕		12/22(火)	13:00～15:00	2	9(3)介護に関することからのしみの基礎的理解②	山本 和裕		
	10/28(水)	11:00～16:10	4	9(2)介護に関することからのしみの基礎的理解②	山本 和裕		1/8(金)	13:00～15:00	2	9(3)介護に関することからのしみの基礎的理解③	山本 和裕		1/12(火)	13:00～16:00	3	9(4)生活と家事①	山本 和裕		
	10/29(木)	11:00～16:00	4	9(4)生活と家事①	山本 和裕		1/14(木)	13:00～16:00	3	9(4)生活と家事②	山本 和裕		1/15(金)	13:00～16:00	3	9(5)快適な居住環境整備と介護①	山本 和裕		
	10/30(金)	11:00～16:00	4	9(5)快適な居住環境整備と介護①	山本 和裕		1/19(火)	13:00～16:00	3	9(5)快適な居住環境整備と介護②	山本 和裕		1/21(木)	13:00～16:00	3	9(6)食事に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師)		
	11/2(月)	13:00～16:00	3	9(6)食事に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師)		1/22(金)	13:00～16:00	3	9(7)移動に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師)		1/25(月)	13:00～16:00	3	9(8)食事に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 川上 孝則		
	11/4(水)	13:00～16:00	3	9(7)移動に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師)		1/26(火)	13:00～16:00	3	9(8)食事に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 川上 孝則		1/28(木)	13:00～16:00	3	9(10)移動に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 羽原 ふみ子(補助講師)		
	11/5(木)	13:00～16:00	3	9(8)食事に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 川上 孝則		1/29(金)	13:00～16:00	3	9(10)移動に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 羽原 ふみ子(補助講師)		2/1(月)	13:00～16:00	3	9(11)睡眠に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師) 川上 孝則(補助講師)		
	11/6(金)	13:00～16:00	3	9(8)食事に関連したことから対応のしみと自立に向けた介護	萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 川上 孝則		2/2(火)	13:00～16:00	3	9(11)睡眠に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師) 川上 孝則(補助講師)		2/4(木)	13:00～15:00	2	9(12)更衣に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師)		
	11/9(月)	13:00～16:00	3	9(10)移動に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 羽原 ふみ子(補助講師)		2/5(金)	13:00～16:00	3	9(12)更衣に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師)		2/8(月)	13:00～16:00	3	9(13)介護過程の基礎的理解①	川上 孝則(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 伊達 哲也		
	11/10(火)	13:00～16:00	3	9(10)移動に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 羽原 ふみ子(補助講師)		2/9(火)	13:00～16:00	3	9(13)介護過程の基礎的理解②	川上 孝則(補助講師) 山本 和裕(補助講師) 伊達 哲也		2/12(金)	13:00～16:00	3	9(14)総合生活支援技術演習①	斉藤 有俊 萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師)		
	11/11(水)	13:00～16:00	3	9(11)睡眠に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師) 川上 孝則(補助講師)		2/15(月)	13:00～16:00	3	9(14)総合生活支援技術演習②	斉藤 有俊 萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師)		2/16(火)	13:00～15:00	2	10(1)振り返り	山本 和裕		
	11/12(木)	13:00～16:00	3	9(11)睡眠に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	羽原 ふみ子 山本 和裕(補助講師) 川上 孝則(補助講師)		2/18(木)	13:00～15:00	2	10(2)授業への振り返りと研修終了後における継続的な研修	山本 和裕 山本 和裕(補助講師) 岸川 浩明		2/19(金)	13:00～16:00	3	振り返り	岸川 浩明 岸川 浩明		
	11/13(金)	10:00～16:00	5	9(12)更衣に related したことから対応のしみと自立に向けた介護	伊達 哲也		12:00～13:00	昼休み											
	11/16(月)	13:00～16:00	3	9(13)介護過程の基礎的理解①	伊達 哲也 川上 孝則(補助講師) 山本 和裕(補助講師)														
	11/17(火)	13:00～16:00	3	9(13)介護過程の基礎的理解②	伊達 哲也 川上 孝則(補助講師) 山本 和裕(補助講師)														
	11/18(水)	13:00～16:00	3	9(14)総合生活支援技術演習①	斉藤 有俊 萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師)														
	11/19(木)	13:00～16:00	3	9(14)総合生活支援技術演習②	斉藤 有俊 萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師)														
11/20(金)	11:00～14:00	2	10(1)振り返り	山本 和裕															
11/24(火)	14:00～15:00	1	振り返り	岸川 浩明															

3：定員

各回40名

4：実習の有無

実習は行わない。

5：研修受講までの流れ

- 当社指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込受付は終了する。
- 当社は、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者あてに通知する。
- 受講決定通知書を受取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- 当社は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。

6：費用

受講料 40,000円 テキスト代 4,500円 合計44,500円（税込）

7：留意事項

研修事業の実施に当たり、次のとおり必要な措置を講じることとする。

(1) 研修の受講に際して、受講申込受付時に本人確認を行う。

確認の方法は、以下の公的証明書の提出等により行うものとし、本人確認が出来ない場合は、受講の拒否又は修了の認定を行わないものとする。

- ① 戸籍謄本、戸籍抄本若しくは住民票の提出
- ② 住民基本台帳カードの提示
- ③ 在留カード等の提示
- ④ 健康保険証の提示
- ⑤ 運転免許証の提示
- ⑥ パスポートの提示
- ⑦ 年金手帳の提示
- ⑧ 国家資格等を有する者については免許証又は登録証の提示 等

(2) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。

苦情部署対応：介護職員養成係受講生担当窓口 電話03-5642-2361

(3) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的にしようとする事のないよう受講生の指導を行う。

8：科目別シラバス

研修カリキュラム表（介護職員初任者研修課程 通学）		通信		実務者名：株式会社コーチング・スタッフ	
※実施方法については、「実施要綱」別紙3「各項目の到達目標、評価、内容」を網羅した内容とすること。					
研修カリキュラム（実施要綱別紙1）		実施計画			
講義・演習（実習）		カリキュラム名・時間数		実施内容	
1	職務の理解	6時間	1	職務の理解	6時間
	(1)多様なサービスの理解		(1) 同左	3	講義及び演習 (1) 要支援で介護の利用者に対し、どのようなサービスを提供できるかグループで検討し、発表する。 (2) 講義のみ
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解		(2) 同左	3	
2	介護における尊厳の保持・自立支援	9時間	2	介護における尊厳の保持・自立支援	9時間
	(1)人権と尊厳を支える介護		(1) 同左	4	(1) 通信講習のみ
	(2)自立に向けた介護		(2) 同左	5	(2) 講義及び演習 介護職と利用者との関係性を理解し、利用者に対するための必要な介護方法についてグループで話し合い、発表する。
3	介護の基本	6時間	3	介護の基本	6時間
	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携		(1) 同左	1	(1) 通信講習のみ
	(2)介護職の職業倫理		(2) 同左	3	(2) 講義及び演習 介護職を行う上での倫理観についてグループに分かれ検討し、発表する。
	(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント		(3) 同左	1	(3) 通信講習のみ
	(4)介護職の安全		(4) 同左	1	(4) 通信講習のみ
4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間	4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携	9時間
	(1)介護保険制度		(1) 同左	3	(1) 通信講習のみ
	(2)障害福祉制度及びその他制度		(2) 同左	4	(2) 通信講習のみ
	(3)医療との連携とリハビリテーション		(3) 同左	2	(3) 講義及び演習 リハビリテーションの意義を理解し、利用者や介護職者のリハビリテーションの役割について話し合い、発表する。
5	介護におけるコミュニケーション技術	6時間	5	介護におけるコミュニケーション技術	6時間
	(1)介護におけるコミュニケーション		(1) 同左	3	(1) 通信講習のみ
	(2)介護におけるチームのコミュニケーション		(2) 同左	3	(2) 講義及び演習 介護職と介護職、介護職と利用者との関係性を理解し、利用者や介護職者のコミュニケーションの役割について話し合い、発表する。
6	老化の理解	6時間	6	老化の理解	6時間
	(1)老化に伴うことからの変化と日常		(1) 同左	3	講義及び演習 (1) 老化現象を理解するために、視覚の低下や聴力の低下の疑似体験を行う。
	(2)高齢者と健康		(2) 同左	3	(2) 通信講習のみ
7	認知症の理解	6時間	7	認知症の理解	6時間
	(1)認知症を取り巻く状況		(1) 同左	2	(1) 通信講習のみ
	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理		(2) 同左	1	(2) 通信講習のみ
	(3)認知症に伴うことからの変化と日常生活		(3) 同左	2	講義及び演習 (3) アルツハイマー認知症の利用者役と介護者役に分かれ、模擬や実際のロールプレイングを行う。
	(4)家族への支援		(4) 同左	1	(4) 講義のみ
8	障害の理解	3時間	8	障害の理解	3時間
	(1)障害の基礎的理解		(1) 同左	0.5	(1) 通信講習のみ
	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識		(2) 同左	0.5	(2) 通信講習のみ
	(3)家族の心理、かかわり支援の理解		(3) 同左	2	講義及び演習 (3) 複数の具体的な事例を示し、障害者がいる家族の気持ちについてグループで検討し、発表する。
9	ことからのしきみと生活支援技術	75時間	9	ことからのしきみと生活支援技術	75時間
ア	基本知識の学習	10～13時間	ア	基本知識の学習	10時間
	(1)介護の基本的な考え方		(1) 同左	3	(1) 講義のみ
	(2)介護に関することからのしきみの基礎的理解		(2) 同左	3	講義及び演習 (2) 複数の具体的な事例を示し、介護を受ける側のことからのしきみに応じたグループで検討し、発表する。
	(3)介護に関することからのしきみの基礎的理解		(3) 同左	4	講義及び演習 (3) 高齢者福祉施設を行い、自分の動きと自分が関わるグループで検討し、発表する。
イ	生活支援技術の講義・演習	50～55時間	イ	生活支援技術の講義・演習	53時間
	(4)生活と家事		(4) 同左	6	(4) 講義のみ
	(5)快適な居住環境整備と介護		(5) 同左	6	(5) 講義のみ
	(6)整容に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(6) 同左	6	(6) 講義、実技演習及び通信講習 (6) 利用者役と介護者役に分かれ、衣服の着脱の実技演習を行う。
	(7)移動・移乗に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(7) 同左	6	講義、実技演習及び通信講習 (7) 利用者役と介護者役に分かれ、移動介助の実技演習を行い、お風呂やトイレについて確認し、発表する。
	(8)食事に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(8) 同左	6	講義、実技演習及び通信講習 (8) 利用者役と介護者役に分かれ、食事介助の実技演習を行い、確認し、発表する。
	(9)入浴・清潔保持に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(9) 同左	6	分講義、実技演習及び通信講習 (9) 利用者役と介護者役に分かれ、清拭の実技演習を行い、配慮の必要性について検討する。
	(10)排泄に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(10) 同左	6	講義及び演習 (10) 排泄の具体的な事例を示し、排泄に関するケアの実技演習を行い、ことからのしきみに応じたグループで検討し、発表する。
	(11)睡眠に関連したことからのしきみと自立に向けた介護		(11) 同左	6	講義及び実技演習 (11) 振動や騒音により、睡眠が妨げられることを知るために、実際に体験を行い、実技演習を行う。
	(12)死にゆく人に関することからのしきみと終末期介護		(12) 同左	5	(12) グループに分かれ、死にゆく人へのケアについて検討し、発表する。
	(実習) [※] (50～55時間中12時間以内)		(実習) [※]	時間	(実習) [※]
	介護実習	○時間			
	ホームヘルプサービス同行訪問	○時間			
	在宅サービス提供現場見学	○時間			
ウ	生活支援技術演習	10～12時間	ウ	生活支援技術演習	12時間
	(13)介護過程の基礎的理解		(13) 同左	6	講義及び演習 (13) 介護過程の基礎的理解と利用者・介護者・家族に対し、グループで検討し、介護を行ううえでの関わりについて確認し、発表する。
	(14)総合生活支援技術演習		(14) 同左	6	(14) 講義及び実技演習 一連の生活支援技術について実技演習を行う。
10	振り返り	4時間	10	振り返り	4時間
	(1)振り返り		(1) 同左	2	講習及び演習 移動介助や入浴介助の介護技術演習の復習を行う。
	(2)就業への備えと研修終了後における継続的な研修		(2) 同左	2	(2) 講義のみ
	追加カリキュラム				
	計 (130時間)		計	(130時間)	

※「9 ことからのしきみと生活支援技術」内で実習を行う場合、12時間以内とする。

9：通信講習の科目及び時間

事業者名：株式会社コーチング・スタッフ				第1回				事業者名：株式会社コーチング・スタッフ				第2回			
区分	科目 (項目・科目番号及び科目名)	講習時間数			講師名	区分	科目 (項目・科目番号及び科目名)	講習時間数			講師名				
		計	通学講習	通信講習				計	通学講習	通信講習					
講義・演習 (実習)	1(1)多様なサービスの理解	3	3		齊藤 有俊	講義・演習 (実習)	1(1)多様なサービスの理解	3	3		齊藤 有俊				
	1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		齊藤 有俊		1(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解	3	3		齊藤 有俊				
	2(1)人権と尊厳を支える介護	4		4	齊藤 有俊		2(1)人権と尊厳を支える介護	4		4	齊藤 有俊				
	2(2)自立に向けた介護	5	2	3	齊藤 有俊		2(2)自立に向けた介護	5	2	3	齊藤 有俊				
	3(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	1		1	小菅 将太		3(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	1		1	小菅 将太				
	3(2)介護職の職業倫理	3	3		小菅 将太		3(2)介護職の職業倫理	3	3		小菅 将太				
	3(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	1		1	羽原 ふみ子		3(3)介護における安全の確保とリスクマネジメント	1		1	羽原 ふみ子				
	3(4)介護職の安全	1		1	羽原 ふみ子		3(4)介護職の安全	1		1	羽原 ふみ子				
	4(1)介護保険制度	3		3	伊達 哲也		4(1)介護保険制度	3		3	伊達 哲也				
	4(2)障害福祉制度及びその他制度	4		4	伊達 哲也		4(2)障害福祉制度及びその他制度	4		4	伊達 哲也				
	4(3)医療との連携とリハビリテーション	2		2	伊達 哲也		4(3)医療との連携とリハビリテーション	2		2	伊達 哲也				
	5(1)介護におけるコミュニケーション	3		3	小菅 将太		5(1)介護におけるコミュニケーション	3		3	小菅 将太				
	5(2)介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		小菅 将太		5(2)介護におけるチームのコミュニケーション	3	3		小菅 将太				
	6(1)老化に伴うことからの変化と日常	3	3		小菅 将太		6(1)老化に伴うことからの変化と日常	3	3		小菅 将太				
	6(2)高齢者と健康	3		3	春木 純淑		6(2)高齢者と健康	3		3	春木 純淑				
	7(1)認知症を取り巻く状況	2		2	橋本 さやか		7(1)認知症を取り巻く状況	2		2	橋本 さやか				
	7(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1		1	春木 純淑		7(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1		1	春木 純淑				
	7(3)認知症に伴うことからの変化と日常生活	2		2	橋本 さやか		7(3)認知症に伴うことからの変化と日常生活	2		2	橋本 さやか				
	7(4)家族への支援	1		1	橋本 さやか		7(4)家族への支援	1		1	橋本 さやか				
	8(1)障害の基礎的理解	0.5		0.5	春木 純淑		8(1)障害の基礎的理解	0.5		0.5	春木 純淑				
	8(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	0.5		0.5	春木 純淑		8(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	0.5		0.5	春木 純淑				
	8(3)家族の心理、かかわり支援の理解	2		2	萩原 健市		8(3)家族の心理、かかわり支援の理解	2		2	萩原 健市				
	9(1)介護の基本的な考え方	3		3	萩原 健市		9(1)介護の基本的な考え方	3		3	萩原 健市				
	9(2)介護に関することからの基礎的理解	3		3	萩原 健市		9(2)介護に関することからの基礎的理解	3		3	萩原 健市				
	9(3)介護に関することからの基礎的理解	4		4	山本 和裕		9(3)介護に関することからの基礎的理解	4		4	山本 和裕				
	9(4)生活と家事	6		6	山本 和裕		9(4)生活と家事	6		6	山本 和裕				
9(5)快適な居住環境整備と介護	6		6	山本 和裕	9(5)快適な居住環境整備と介護	6		6	山本 和裕						
9(6)整容に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	羽原 ふみ子 川上 孝則(補助講師) 山本 和裕(補助講師)	9(6)整容に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	羽原 ふみ子 川上 孝則(補助講師) 山本 和裕(補助講師)						
9(7)移動・移乗に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	羽原 ふみ子 川上 孝則(補助講師) 山本 和裕(補助講師)	9(7)移動・移乗に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	羽原 ふみ子 川上 孝則(補助講師) 山本 和裕(補助講師)						
9(8)食事に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	川上 孝則 萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師)	9(8)食事に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	川上 孝則 萩原 健市(補助講師) 山本 和裕(補助講師)						
9(9)入浴、清潔保持に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	川上 孝則 萩原 健市(補助講師) 晴山 隆英(補助講師)	9(9)入浴、清潔保持に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	3	3	川上 孝則 萩原 健市(補助講師) 晴山 隆英(補助講師)						
9(10)排泄に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	6		齊藤 有俊 小菅 将太(補助講師) 羽原 ふみ子(補助講師)	9(10)排泄に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	6		齊藤 有俊 小菅 将太(補助講師) 羽原 ふみ子(補助講師)						
9(11)睡眠に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	6		伊達 哲也 川上 孝則(補助講師) 橋本 さやか(補助講師)	9(11)睡眠に関連したことからのしくみと自立に向けた介護	6	6		伊達 哲也 川上 孝則(補助講師) 橋本 さやか(補助講師)						
9(12)死にゆく人に関連したことからのしくみと終末期介護	5	5		伊達 哲也	9(12)死にゆく人に関連したことからのしくみと終末期介護	5	5		伊達 哲也						
9(13)介護過程の基礎的理解	6	6		伊達 哲也 川上 孝則(補助講師) 晴山 隆英(補助講師)	9(13)介護過程の基礎的理解	6	6		伊達 哲也 川上 孝則(補助講師) 晴山 隆英(補助講師)						
9(14)総合生活支援技術演習	6	6		齊藤 有俊 萩原 健市(補助講師) 晴山 隆英(補助講師)	9(14)総合生活支援技術演習	6	6		齊藤 有俊 萩原 健市(補助講師) 晴山 隆英(補助講師)						
10(1)振り返り	2	2		晴山 隆英	10(1)振り返り	2	2		晴山 隆英						
10(2)就業への備えと研修終了後における継続的な研修	2	2		晴山 隆英	10(2)就業への備えと研修終了後における継続的な研修	2	2		晴山 隆英						
合計		130	91	39		合計		130	91	39					

10：指導体制・指導方法

通信による実施方法は以下の通りとする。

(1) 学習方法

添削課題を提出期限までに提出することとする。ただし、合格点に達しない場合は、合格点に達するまで再提出を求める。

(2) 評価の方法

添削課題については、課題の理解度及び記述の的確性・理論性に応じて、担当講師がA、B、C、Dの評価を行うこととする。評価C以上を合格とする。

A = 90点以上 B = 80～89点 C = 70～79点 D = 70点未満

(3) 個人学習への対応方法

受講生の質問に対しては、FAX(03-5642-2161)により受け付け、必要に応じて担当講師に照会する。

1 1 : 修了評価の方法、評価者、再履修等の基準

修了の認定は、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

- (1) 成績評価は、東京都介護員養成研修事業実施要綱に規定する「各項目の到達目標、評価、内容」の「修了時の評価ポイント」に沿って、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。また、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。実技試験は、「9 こころとからだのしくみと生活支援技術」の面接授業内で行う。成績評価で知識・技術等の習得が十分でないと評価された者は必要に応じて補講等を行い、筆記試験より前に到達目標に達するよう支援する。
- (2) 筆記試験は、第9条に定めるカリキュラムを全て履修した者に対して行う。
- (3) 修了評価基準は、次のとおり、理解度及び実技習得度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、筆記試験及び実技試験の修了評価がC以上の受講者を、評価基準を満たしたものと認定する。評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

評価基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、D=70点未満

1 2 : 過去の研修実施回数

25年度～31年度 各年度1回 計7回実施

1 3 : 研修修了者数

25年度 25名 26年度 24名 27年度 33名 28年度 26名 29年度 33名
30年度 43名 31年度 36名

1 4 : 申し込み・資料請求先

聖進学院 03-5642-2361

1 5 : 事業所・法人の苦情対応者名

苦情部署対応：介護職員養成係受講生担当窓口 電話03-5642-2361 担当：中島